

【地区別計画（高津・緑が丘圏域②）】

《高津5・6街区地区》

- 将来どんな“まち”でありたい
 - ・ 住民同士がお互いを気にかかけ、声かけを自然にできるまち
 - ・ あらゆる外出に不便しないまち
- これから特に取り組みたいこと（施策の方向性：②⑤）
 - ・ 孤立防止のための「おせっかい」
 - ・ 健康を意識し、人と人がつながるための「場づくり」

《高津団地地区》

- 将来どんな“まち”でありたい
 - ・ 世代に関係なく皆が助け合うことのできているまち
 - ・ 幅広い世代がだれでも集える場所があるまち
 - ・ 自然が今のままたくさん残っているまち
- これから特に取り組みたいこと（施策の方向性：⑤⑨）
 - ・ いつでも会える「機会」や「場」の提供

《緑が丘地区》

- 将来どんな“まち”でありたい
 - ・ 住民同士の支え合い活動が盛んなまち
- これから特に取り組みたいこと（施策の方向性：⑬⑰）
 - ・ 認知症になっても安心して暮らせる、支え合いの体制づくり



【地区別計画（高津・緑が丘圏域①）】

○地域のよいところ

- ・公園が多い
- ・買い物が便利
- ・定期的に大きなお祭りがあり、たくさんの子供が集まる
- ・新しいまちのイメージがある
- ・おせっかいおばさん、おじさんがいる
- ・集会する場所が複数あり便利
- ・子育て世帯が多い
- ・子ども、住民が増えている・自治会組織が充実している
- ・自主防災会が充実している
- ・防災パトロールが活発に行われている
- ・地域のつながりがある
- ・子ども達を見守ろうとする大人が増えている

○地域の課題

- ・一人暮らしの高齢者が多く、情報が届きにくい
- ・8050問題で悩んでいる人が多い
- ・一人暮らしの人に何かあった時に頼れる人がいない
- ・隣近所の人との交流が少ない
- ・地域によって住民参加の意識に差がある
- ・地域とのつながりのない家庭がある
- ・不登校の子の居場所がない
- ・災害時の備蓄倉庫がない

《大新上地区》

将来どんな“まち”でありたい

- ・子どもから高齢者がふらっと立ち寄り、交流ができる場がある“まち”
- ・文化を伝え、人とつながる“まち”

これから特に取り組みたいこと（施策の方向性：⑤⑬）

- ・あいさつ飛び交う“地域の輪”

《高津地区》

将来どんな“まち”でありたい

- ・子どもから高齢者がふらっと立ち寄り、交流できる場があるまち
- ・文化を伝え、人とつながるまち

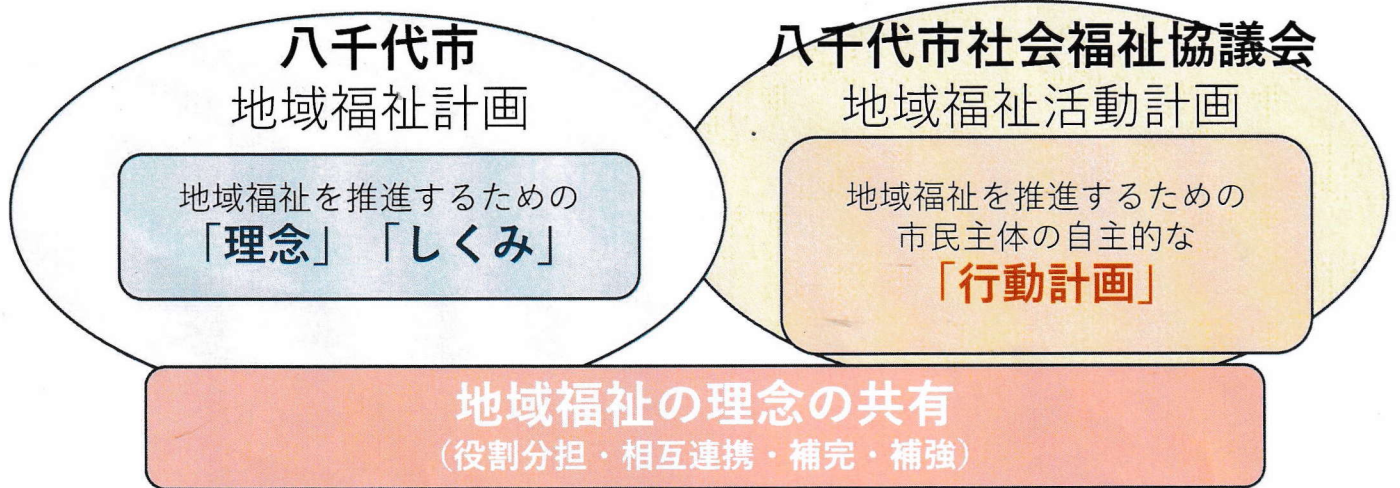
これから特に取り組みたいこと（施策の方向性：⑤⑬）

- ・「輪」と「和」でネットワークづくり

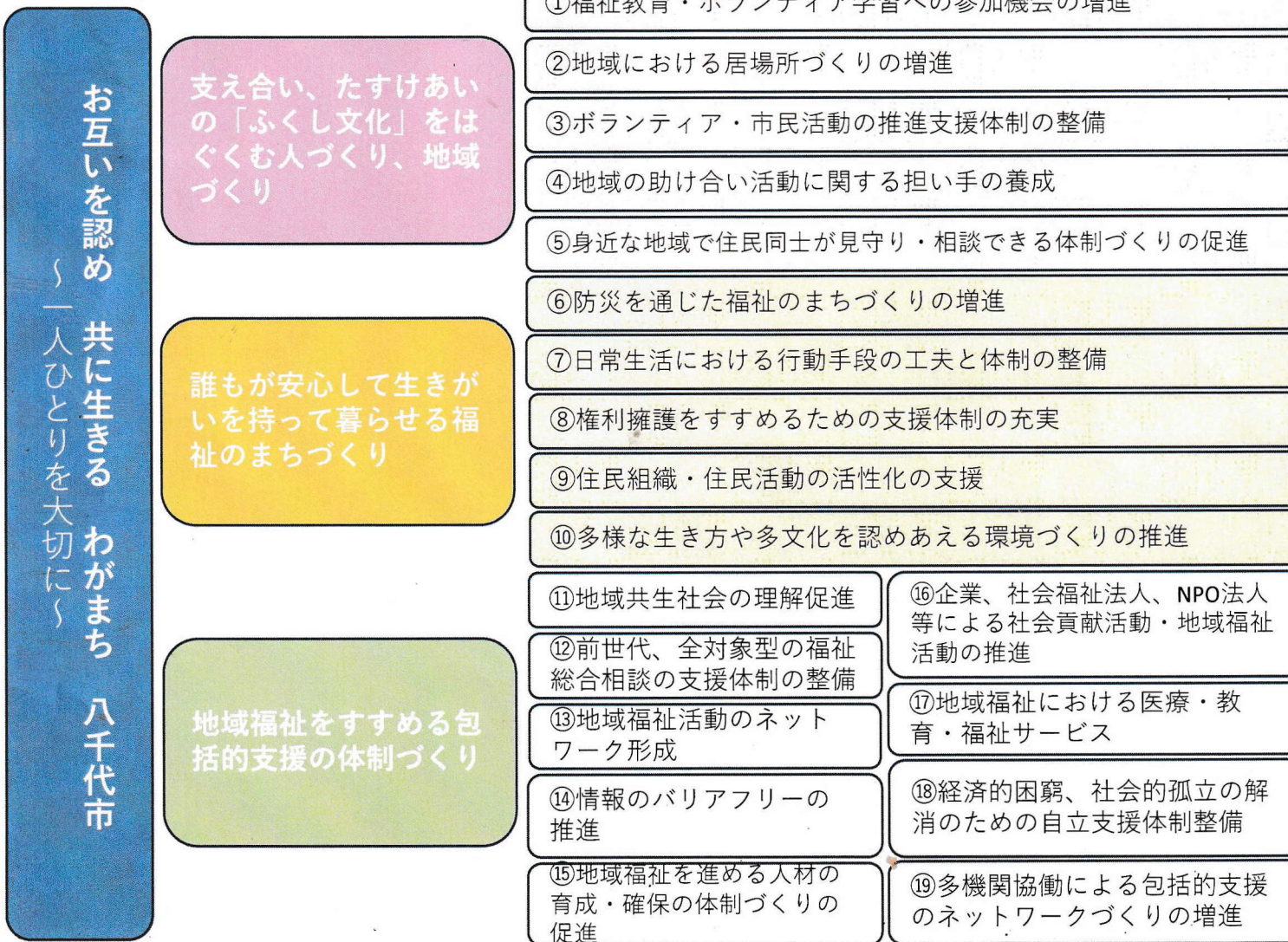
「八千代市地域福祉計画」 「八千代市地域福祉活動計画」について

本計画は、高齢者福祉、障害者福祉、児童福祉等を横断的につなげる総合的な計画として、各種行政企画等との連携を取りつつ、地域福祉の視点から横断的に施策の推進を図ります。

八千代市においては、地域福祉を推進するための基本的な理念と仕組みをつくる行政計画の「**地域福祉計画**」と、社会福祉協議会が策定する地域福祉を推進するための市民主体の自主的な行動計画の「**地域福祉活動計画**」を一体的に策定し、その理念や地域福祉の方向性などを共有・連携することにより、地域福祉の推進を図ります。



第1次計画策定の際、地域懇談会、市民アンケート、地域福祉シンポジウムなどから浮かび上がってきた本市の地域福祉の現状と課題、ニーズを踏まえ、基本目標を3つ挙げています。あわせて、基本目標を達成するため必要と考えられる施策の方向性として19の項目を掲げました。



地域福祉計画・地域福祉活動計画 19の施策

1	福祉教育・ボランティア学習への参加機会の増進 例) 小中学校の福祉出前講座に参加する。ボランティア講座に参加する。
2	地域における居場所づくりの増進 例) ふれあいサロン・子ども食堂等、集いの場を提供する。
3	ボランティア・市民活動の推進支援体制の整備 例) ボランティアや市民活動団体を募り、情報交換・意見交換を開催する。
4	地域の助け合い活動に関する担い手の養成 例) 担い手養成講座を実施・参加する。内容を地域で共有する。
5	身近な地域で住民同士が見守り・相談できる体制づくりの推進 例) 見守り活動・声かけ運動等を実施する。
6	防災を通じた福祉のまちづくりの増進 例) 地域の防災訓練や避難所運営協議会等に参加する。避難行動要支援者を把握する
7	日常生活における行動手段の工夫と体制の整備 例) 買い物の支援・移動販売の誘致等、地域でできることを話し合う。
8	権利擁護をすすめるための支援体制の充実 例) 虐待やDV（ドメスティックバイオレンス）の相談先を把握し、早期発見に努め関係機関につなぐ。
9	住民組織・住民活動の活性化の支援 例) 地域のイベントやお祭り等の行事を積極的に支援する。
10	多様な生き方や文化を認めあえる環境づくりの推進 例) 外国人の文化やLGBTQ（性的マイノリティ）について理解を深める。
11	地域共生社会の理解促進 例) 支会活動を住民に周知する。広報誌を活用し地域共生社会について啓発を行う。
12	全世代、全対象型の福祉総合相談の支援体制の整備 例) 住民同士で気軽に相談できる関係づくりや気軽に立ち寄れる「場」を構築する。
13	地域福祉活動のネットワーク形成 例) 隣接する支会同士で情報交換を行う。福祉関係者団体との交流会を開催する。
14	情報のバリアフリーの推進 例) 情報入手が困難な方を把握する。当事者から話を伺い、様々な媒体・手段を駆使した取り組みを行う。
15	地域福祉をすすめる人材の育成・確保の体制づくりの推進 例) 活動希望者を積極的に受け入れる。啓発活動を積極的に行う。
16	企業、社会福祉法人、NPO法人等による社会貢献活動・地域福祉活動の推進 例) 地域のイベントに参加する。自社の強みを地域に活かす活動を行う。寄付活動を行う。
17	地域福祉における医療・教育・福祉サービスの充実 例) 元気体操・健康講座を開催する。学習支援を行う。
18	経済的困窮、社会的孤立の解消のための自立支援体制整備 例) 気になる方がいた場合の相談先を把握し、関係機関へつなぐ。
19	多機関協働による包括的支援のネットワークづくりの増進 例) 地域のネットワーク会議に参加する。他団体と情報交換を行う。